

図書館のタクミ

・ 一歩進んだ図書館の活用術

今日の図書館サービスでは、図書館ネットワークやインターネット、CD-ROM、オンラインデータベース等の電子資料を活用した資料提供が多くなっています。

これにより、市町村の図書館や公民館図書室等でも、図書館の多様な機能を活用し、問題解決に結び付ける力を付けることで、大規模図書館と同等の図書館サービスが可能になりました。

そこで今回は、先ごろ県立図書館で利用者を対象に行なう好評だった「図書館のタクミ・一歩進んだ図書館活用術」をご紹介します。

皆さんも一歩進んだ図書館の活用術を実践してみませんか。

図書館のタクミ

一歩進んだ図書館の活用術

1 図書館の現在

(1) 情報社会の進展

私たちは現在変革の激しい情報社会に生きています。新聞、雑誌、書籍、ラジオ、テレビに加え、インターネットというこれまでにない方法と量を持つ情報伝達ツールが普及したことにより、情報源が多様化し複雑化しています。

(2) 新技術の進展

次々と現れてくる新技術を使いこなすためには、技術革新のスピードに合わせて、様々な技能を習得していかななくてはなりません。

自宅のインターネット環境も 10 年前は「ダイヤルアップ」。5、6 年前は「ブロードバンド」。今は「光回線（光ファイバー）」へと進化しています。

自家用車もハイブリッドカーの登場で、ガソリンエンジンカーとは異なる技術と知識が必要となるでしょう。エンジンオイルの汚れ具合等教習所で習った車の基礎知識や点検技術は、全く役に立たなくなるかも知れません。

工業技術だけではありません。サブプライムローンといったような新しい金融商品の登場、ips細胞の形成に見られるような医療技術の進展など、私たちはその時代で社会生活を送っていくための新たな技能を習得する必要があります。

こうした変革の激しい社会においては、

- ・生活に必要な技術・知識の習得をする
- ・多様化する情報源から大量に発信される、情報を効率良く収集する
- ・そこで得られた知識や情報を周りの人と共有し、文化活動へと昇華する
- ・そのためには、一生涯にわたる学習が必要といわれています。

(3) 情報提供により「役立つ図書館」へ

このような背景から、図書館ではこれまでの本の貸出やレファレンスサービスに加え、ビジネス支援サー

ビス等利用者が本当に必要とする情報を的確に、かつすばやく提供する「役立つ図書館」に、脱皮することが求められています。

そのためには次の3つの取組みが必要と考えられます。

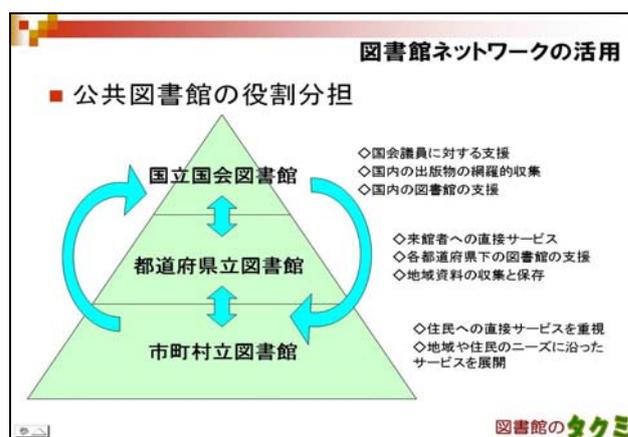
- ・情報収集のための各種のツールの整備
- ・ホームページを活用した効果的な情報の提供
- ・図書館機能を活用した、課題解決への支援

岩手県立図書館でも、次に紹介する図書館ネットワークの活用、各種の電子資料や、インターネットを利用できる環境の整備を進め、地域を支える情報拠点をめざした取り組みを続けています。

2 地域を支える情報拠点をめざして

図書館がすでに備えている機能を生かすことで、地域を支える情報拠点としての機能を発揮することができます。その中から次の5つの活用をご紹介します。

(1) 図書館ネットワークの活用



私たちが普段、業務として活用している図書館ネットワークは、他の生涯教育施設には見られない非常に優れた仕組みです。

公共図書館には市町村立図書館、都道府県立図書館、国立国会図書館それぞれに役割分担があり、図書館ネットワークが構築され運用されています。

①CD-ROM 資料 (約 430 点所蔵)

「岩手の古文書1～5」「岩手の古絵図」「岩手の火山地質データベース」「大宅壮一文庫雑誌記事索引目録 1988～2007」「学会年報・研究報告論文総覧 1945～2002」その他政府発行の白書・統計等。

②オンラインデータベース資料(18点)

新聞記事データベース7紙「岩手日報、日経、朝日、読売、毎日、産経、河北新報」、「官報」「岩手県報」、総合百科事典「ジャパンナレッジ」、図書内容情報「BOOKPLUS」、雑誌・論文情報「MAGAJINEPLUS」、科学技術・特許・医学等データベース「JDream II」「医中誌 Web」、農業関係データベース「ルーラル図書館」等。

★ポイント

- ・ 総合百科事典「ジャパンナレッジ」は日本大百科全書や日本国語大辞典、日本歴史地名大系、現代用語の基礎知識、東洋文庫などの叢書、週刊エコノミスト、その他マルチメディアなど総項目数約 211 万項目から検索できます。複数のキーワード入力、AND 検索、NOT 検索などの設定により、素早く目的の項目にたどりつくことができます。
- ・ 「聞蔵Ⅱビジュアル」は朝日新聞社の記事データベースです。
1945 年から現在までの記事と週刊朝日、AERA、知恵蔵、人物データベースが検索でき、新聞記事は紙面のイメージで表示されます。
- ・ 「岩手日報記事情報」岩手を代表する岩手日報の 2004 年 4 月からの検索と記事の閲覧ができます。岩手県内の政治・経済・文化・スポーツをはじめ各地域の出来事が見ることができます。ただし、事故、事件、裁判の記録は除かれています。それ以前の記事はマイクロフィルムで明治 30 年4月～現在まで所蔵しています。

これらのデータベースの検索は、「協力レファレンス」で受け付けておりますのでお気軽にどうぞ。

(5) 図書館ホームページの活用

図書館のホームページも情報収集のツールとして大変重要です。ここでは国立国会図書館のホームページと岩手県立図書館のホームページの活用をご紹介します。

① 国立国会図書館「ホームページトップページ画面」
(ホームページから転載)



②国立国会図書館「NDL-OPAC 書誌一般検索面」
(ホームページから転載)



国会図書館が所蔵する資料 3,600 万点の和・洋の図書、雑誌・新聞、電子資料、和古書・漢籍、博士論文、地図、音楽録音・映像資料等を検索することができます。また、雑誌記事索引も検索できます。

★ポイント

- ・ 完全一致で検索したい場合は検索語の前後にスラッシュ「/」を。ex.「/図書館/」。
- ・ 旧字、略字でも検索可能。
- ・ 雑誌の検索は「和雑誌新聞」にチェックし出版年を入力せず検索する。漢字でヒットしないときは平仮名で検索。
- ・ 雑誌の所蔵確認は古い部分は巻号のデータが入力されていないため、「所蔵情報」で所蔵範囲を確認。
- ・ 雑誌記事の検索は 19,372 誌検索可能。採録誌や期間は「雑誌記事索引採録誌一覧」で確認を。

③ 国立国会図書館「リサーチナビ検索結果画面」 (ホームページから転載)



リサーチナビは「何を調べたいか」「どう調べたいか」と迷ったとき、キーワードやいろいろな分野から、効率よく求める情報にたどりつけるように「調べ方のヒント」を提供するものです。図書館資料、ウェブサイト、各種データベース、関係機関情報を特定のテーマ、分野別に紹介しています。

★ポイント(キーワード検索手順)

タグのキーワードを入れる⇒検索する⇒タグを選ぶ

- ・ [調べ方]: どのような本を見たらよいか、どのように情報を探せばよいか。「調べ方案内」や「レファレンス共同データベース」から調べ方のヒントを表示。
- ・ [本・サイト]: 国会図書館の蔵書の中から。書名や著者名、目次等に検索キーワードが含まれる本やサイトを表示。
- ・ [キーワード]: キーワードと関連語をテーマグラフ(樹形図的に連想検索を表示)、タグクラウド(アルファベット、利用頻度、文字サイズ)などで表示。
- ・ [百科事典]: 参考情報として、Wikipedia の検索結果を表示。(注意: あくまで参考情報)

④ 岩手県立図書館のホームページ



ア 県立図書館の蔵書検索

県立図書館が所蔵する図書、郷土資料、逐次刊行物(新聞・雑誌等)、視聴覚資料(ビデオ、CD 等)を検索することができます。

★ポイント(キーワード検索手順)

「検索画面」⇒「検索結果一覧画面」⇒「資料詳細画面」

図書、雑誌、AV を選択し、検索ボタンをクリックすることで、探したい資料を検索することができます。検索結果の表示件数は 200 件まで。

イ 岩手県内の資料の所蔵調査(横断検索)

横断検索は県内図書館39館(うち大学図書館5館)の蔵書を一度に検索できるシステムです。資料の書名や著者名などを入力するだけで、検索語入力画面に表示されている岩手県内の図書館の蔵書をまとめて検索することができます。

利用者から求められた資料が自館にない時は、横断検索し、所蔵館から相互貸借により借り受け「県立図書館図書資料等搬送事業」を活用して、利用者へ提供することができます。

ウ 郷土関係書誌情報データベース

岩手県に関する様々な図書、新聞、雑誌等に関する情報を調べることができます。

情報拠点の活用

これまで見てきたように、図書館の情報拠点機能を活用して、例えば

- ➡ 「最新の情報」を新聞記事データベースを使って調べ、そこに出てきた「言葉」や「キーワード」の概要を
- ➡ 辞書を使って調べたい時は、「ジャパンナレッジ」で調べ、ここで見つけた参考文献を所蔵している図書館を
- ➡ 岩手県内で調べたい時は、「岩手県立図書館のホームページ」で
- ➡ 全国的な所蔵状況を調べたい時は、「国立国会図書館のホームページ」で
- ➡ そして、所蔵館が分かったら「図書館ネットワーク」を活用して、その情報＝本を取り寄せることができます

私たち図書館職員は、こうした図書館の機能をこれまで以上に活用し、利用者へ「役に立つ」図書館でありたいと思っています。